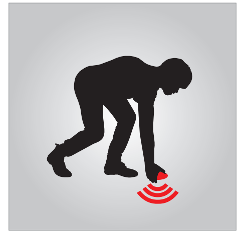
最終捜索（ピンポイント段階）

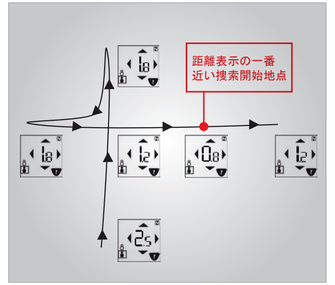
距離表示が3m以下になると、矢印は表示されません。クロス法や直角法を利用して捜索を行って下さい。



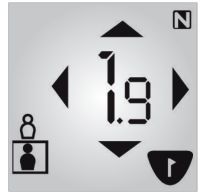
1. ビーコンを雪面にできる限り近づけます。
2. ビーコンを方向指示矢印に対して雪面と平行に動かして下さい。距離表示が一番近い地点で直角方向（90°）へ同じ捜索を繰り返し、距離表示が一番近い地点を決定します。

1.0mより近い埋没者地点を発見できれば、次のプロービング段階に進んで下さい。

ピンポイントの
捜索事例



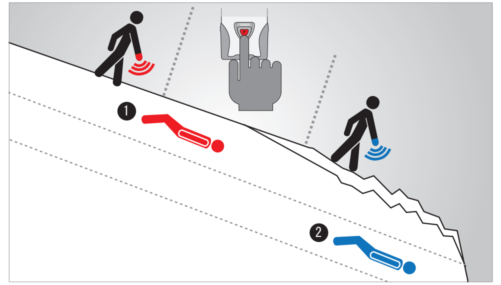
複数埋没者



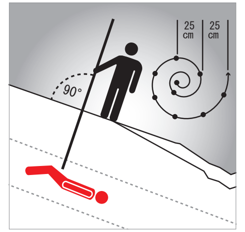
複数埋没者表示（左図参照）

もし複数埋没者状況の場合、ビーコンは画面左側に埋没者の人数リストを表示します。上級者モードではカーソル移動する事で埋没者信号を選択する事ができます。

マーキング/解除
3m以内に埋没者がいる場合、画面右下に（マーキングアイコン）が点滅します。中央の赤いフラッグボタン を押して、マーキングを行って下さい。
ビーコンはマーキングされた埋没者信号に戻る事無く次の埋没者信号の捜索を始めます。上級者モードでは一度マーキングした埋没者信号を再度、赤いフラッグボタンを押す事でマーキングを解除する事が出来ます。



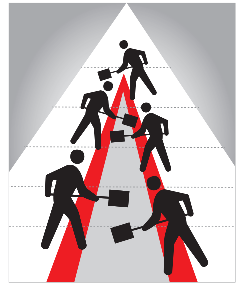
プロービング



プロービングを行うことでより正確な地点を確認します。プローブは斜面に対して90°の角度で差し込んで下さい。（左図参照）

ショベリング

アバランチレスキューにおいて最も時間を費やす作業は雪を掘る作業です。（下記図参照）



ショベリングは救出作業において最も重要なポイントです。的確に組織化して掘り出す事が必要です。
V字堀削法は救出時に最も効果的で最適な方法です。埋没者を発見すると直ぐに埋没者ビーコンの電源をOFFにして下さい。

電波干渉の最適化

スキーヤーが多くの電子機器を装備していると初期捜索中に電波干渉を引き起こす可能性があります。

この症状は山岳リゾートエリアでは報告されていますが、バックカントリーエリアではほとんど報告されません。
あなたは詳細設定内特別モードで電波干渉レベルに応じて捜索幅を低減し、電子ノイズからビーコンへの電波干渉を抑える事が出来ます。

通常の捜索幅は50m。

電波干渉が初期レベルに到達した場合
=>ビーコンは捜索幅を25mに低減し、画面にBAND25と表示します。

電波干渉が二次レベルに到達した場合
=>ビーコンは捜索幅を10mに低減し、画面にBAND10と表示します。

捜索幅に応じて操作方法を使い分けるように気をつけて下さい。

⚠ 警告：使用交換済みの電池は決して火の中に掘り込まないで下さい。爆発の可能性があります。各市町村の処理方法により破棄して下さい。
⚠ IMPORANT SWITZERLAND:THE 4.10 ANNEX OF THE SR 814.013 NORM IS RELEVANT TO BATTERIES.

AVAILABLE DEVICE 5 YEAR WARRANTY

REGISTER YOUR ARVA WWW.ARVA-EQUIPMENT.COM

R&TTE Declarations of Conformity
Hereby. Name of manufacturer: Astee Flash France. Adress: 43, rue du Vieux Chêne. Zip Code: 38240. City: Meylan. Country: France. Declares that the avalanche beacon. Type designation: PRO W. Trademark: ARVA, is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of directive. 1999/5/EC. The compliance of the device has been evaluated according to the Electromagnetic compatibility standard test: FCC CFR 47 part 15, Subpart C. The complete declaration of conformity is available at the address above. Name: TORRES. Fonction: Establishment Development Director. Date: 19/08/2011 Signature:

FCC requirements: - FCC ID: O9BARVAPROW
NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
- Information to user: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment

Elimination of manufacturing wastes by the private users in the eu. This symbol written in the product or in its packaging indicates that this product must not be throw in the garbage with your other waste. Its your responsability to rid of your manufacturing wastes bringing it to a specialized sorting office for the recycling of electrical and electronic instruments. Collection and recycling separated of your wastes will contribute to preserve natural resources and guarantee a recycling respectful of the environment and human health. For further information concerning the recycling center near your place of residence, contact your town hall, the elimination service of garbage heap or the store where you bought the instrument.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation

W-LINK

victime W-Link

W-LINK機能は国際標準規格周波数に追加された2つ目の周波数帯です。この機能の特徴はW-LINKを装備したビーコン同士の情報交換を素早く正確に行う事が可能になります。

スタンバイ機能

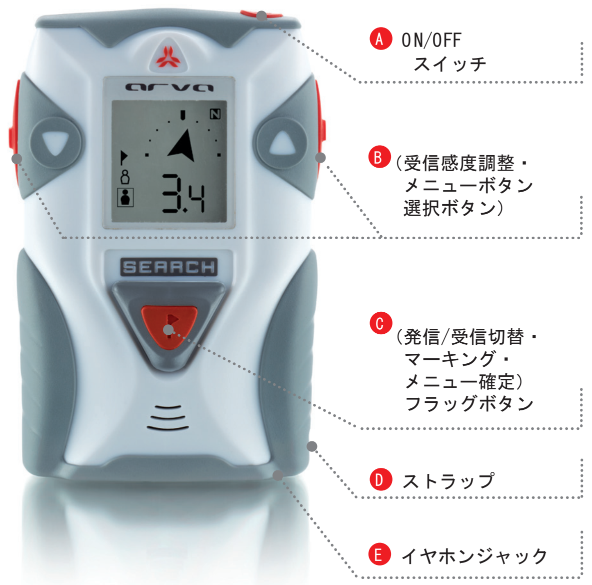
スタンバイ機能を起動するにはON/OFFボタンを2回押します。スタンバイ機能は他の捜索作業を邪魔する事無く雪面上で作業する事が可能です。スタンバイ機能を起動するにはON/OFFボタンを押した後、フラッグマークが表示中にフラッグボタンで確定します。スタンバイ機能を終了するにはON/OFFボタンを一度押します。PROWビーコンはモーションセンサーを内蔵しています。モーションセンサーは捜索中又はスタンバイモード起動中、4分間何も動きが無ければ自動的に送信モードに切り替わります。（時間設定可能）

テクニカルデータ

・デジタル/アナログ捜索モード	・スタンバイ機能
	・W-LINK機能
・送信自動復帰機能	・victim+機能
・捜索受信幅50m	・ソフトアップデート可能
・埋没者信号リスト	・捜索方法：初心者モード/上級者モード
・埋没者信号の選択可能	
・埋没者信号のマーキングと解除	・260 g
	・ETS 300 718 Standard

50m Bandwidth
3 Antennas
Wlink Dual frequency
Multiple indication burried
Updatable
Scrolling function &marking

CDF13PGB



A ON/OFF スイッチ
B（受信感度調整・メニューボタン選択ボタン）
C（発信/受信切替・マーキング・メニュー確定）フラッグボタン
D ストラップ
E イヤホンジャック
SEARCH
3.4
N

PRO W

Analog and digital

取扱説明書

使用方法

- 電池の確認

初めての起動時はテストバッテリーが付属しています。もし電池残量が50%以下を表示する場合は電池を交換する事をお勧めします。

⚠ 充電式電池やリチウム電池は絶対に使用しないで下さい。

長期間使用しない場合は（夏場を含む）電池を抜いた状態で保管して下さい。電池ボックス内に液漏れがある場合、製品保証は適用されません。

- 詳細設定

詳細設定画面を起動する為に：一度、PRO Wの電源をOFFにします。（電源をOFFにするには右上のON/OFFスイッチを押し、画面上にOFFが表示されるとフラッグボタンを押します。）

左右のボタンを同時に押し続けます。

左右のボタンを同時に押し続けながらON/OFFボタンを約5秒間押し続けます。

詳細設定を行うには各項目をカーソルで選択しフラッグボタンで決定します。

カーソルは左右のボタンを押す事で上下に移動する事が出来ます。

詳細設定をリセットする場合は詳細設定画面内の「リセット」を選択します。

- 詳細設定項目

1. 言語（フランス語/英語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/ノルウェー語/日本語）
2. ユーザー登録（名前、電話番号）
3. 水平な場所でコンパス調整を行います。ビーコンを水平に置き調整が終了するまでゆっくりとビーコンを右回り（時計回り）に回転させます。
4. モード（初級者、上級者モード）
5. W-Link 地域（地域A=ヨーロッパ、B=アメリカもしくは無し）
6. 送信自動復帰（4分、8分、無し）
7. マーキング可能距離（3m、5m）
8. ソフトウェア情報と保証情報
9. LCDコントラスト調整（とても暗い、暗い、普通、明るい、とても明るい）
10. リセット（一度全ての情報をリセットします。）

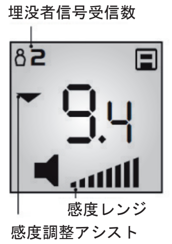
捜索（サーチ）モード

PRO Wは3つの捜索モードが選択できます。

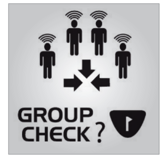
ノーマルモード N：埋没者信号の受信数表示/発見埋没者信号のマークが可能/アナログモードへの切り替えが可能

上級者モード E：　埋没者信号の受信数表示/発見埋没者のマークが可能/アナログモードへの切り替えが可能/W-LINK情報を表示/マーク解除が可能/埋没者信号の選択可能

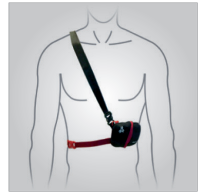
アナログモード A ：
アナログモードへの切り替えは左右横の+/-ボタンを同時に押す事で簡単に出来ます。アナログモードでは感度調整を行う事が出来ます。



グループチェック

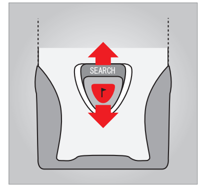

GROUP CHECK ?

送信を開始する前にPRO Wビーコンはグループチェックを選択する事が出来ます。グループチェック画面表示中に C ボタンを押します。
テストモードになるとビーコンは半径1m以内の信号のみ受信します。
テスト済みのビーコンが受信範囲外にある場合は画面上に情報を表示します。
テストモードから送信モードに切り替えるにはもう一度 C ボタンを押して下さい。



- ビーコンとホルスターの装着方法

ホルスターは常に上着内側に装着して下さい。ビーコンは寒さや衝撃から守る為に上着を必ず着る事をお勧めします。捜索で使用する場合、必ずホルスターのビーコン接続リングにしっかりと繋げて下さい。



- 捜索（サーチ）モード

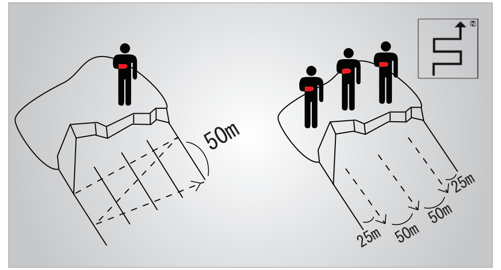
捜索（サーチ）モードに切り替えるには赤いセンターボタンを押しながら送受信切り替えスイッチを下方向へスライドします。画面上に「SEARCH」と表示されます。送信モードに切り替えるには送受信切り替えスイッチを上方向にスライドします。送信モード状態では誤作動を防ぐ為、スライドロックが装備されています。

- 電源を切る

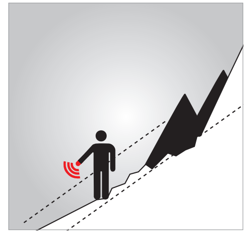
本体上部のON/OFFスイッチ A を押し、画面上の表示に従い赤いセンターボタン C を押します。

初期捜索（アプローチ段階）

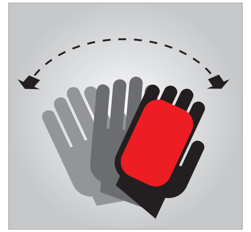
下記の二つの図を参照し雪崩雪面上を進みながら埋没者信号を捜索します。



信号受信範囲を最適化します。



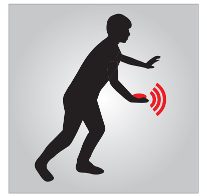
雪崩斜面方向に向かってビーコンを向けて下さい。



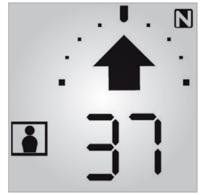
埋没者信号を受信する為にビーコンを水平に持ち、左右にゆっくりと振りながら動かして下さい。

二次捜索（ロケーティング段階）

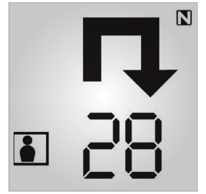
信号を受信すると直ぐに二次捜索を始めて下さい。



- スクリーン画面上に距離、方向指示が表示されると一度立ち止まります。
- 信号方向にビーコンを向けて下さい。
- 冷静になって下さい。



- 埋没者に近づくとゆっくりと移動して下さい。
- もし、矢印の方向に移動中に距離表示が大きくなれば、進行方向からUターンして下さい。
- 同様に雪面上に何か手掛かりになる物に目を向けて下さい。（雪面上に残されたグローブやストック等）



- もし、複雑な複数埋没者状態の場合、ビーコン捜索は更に難しくなります。一度、素早く後退し、違う方向から捜索をする事も必要です。